

# 防災放送と避難行動

巨大災害時の命を守るための行動

防災放送は避難のための最後の砦

それは住民の耳に届いているのか？

そして避難行動に結びついているのか？

日時 平成三十年三月九日

午後一時～四時四〇分

場所 石川県政記念 しいのき迎賓館

参加費 無料(資料代として千円)

会場…石川県政記念 しいのき迎賓館 金沢市広坂2丁目1-1  
お問い合わせ…E-Mail [asj-h@freeml.com](mailto:asj-h@freeml.com) (日本音響学会北陸支部)

主催 日本音響学会 騒音・振動研究委員会、日本音響学会 北陸支部

# 防災放送と避難行動

## 趣旨

巨大災害時には、命を守るための避難行動が第一である。防災放送は避難のための最後の砦といえる。防災放送によって適切な避難行動がとられるためには、きちんと聞こえていることが前提となる。さらに、避難を呼びかける声が、危機感を持って伝わることも大事なポイントである。

防災放送がきちんと機能して、住民の避難行動を促すための要件については、様々な研究が実施されている。昨年度、日本音響学会北陸支部では初めて防災と音響の問題を取り上げた研究会「防災について科学的に考える ～音響学の視点から～」を実施した。今回の2回目の研究会では、最近の研究成果を示し、多面的に防災を考えるための機会としたい。

日時 平成30年3月9日（金）13:00～16:40

場所 石川県政記念 しいのき迎賓館

〒920-0962 石川県金沢市広坂2丁目1番1号

アクセス方法：JR金沢駅バスターミナル兼六園口(東口)3, 6, 8～11番, 金沢港口(西口)

5番乗り場よりバスにて「香林坊(アトリオ前)」下車(所要約10分), 徒歩約5分。

交通案内は、<http://www.shiinoki-geihinkan.jp/about/access.html> を参照して下さい。

参加費：無料, 資料代：1,000円

## 講演

- 災害等非常時屋外拡声システム性能確保のためのASJ技術規準(第1版)  
○佐藤逸人(神戸大), 苮木禎史(千葉工大), 鈴木陽一(東北大)
- 雑音・残響環境下での緊迫感がある音声の知覚  
○小林まおり, 赤木正人(北陸先端大)
- 残響下の了解度と発話変形との関係 – フォルマント分析による検討 –  
○久保理恵子, 赤木正人(北陸先端大)
- 避難行動を喚起する防災放送 – 主観的印象と音声の特徴に与える教示の効果 –  
○高野佐代子, 土田義郎(金沢工大)
- 言語学から見た避難呼びかけ文の現状と分析  
○小笠原奈保美(群馬県立女子大), 大藤建太(会津大)

◎研究会終了後、懇親会を予定しています。

### 【共同主催】

日本音響学会 騒音・振動研究会

委員長 戸井 武司

副委員長 廣江 正明

幹事 上田 麻理, 冨田隆太, 森原 崇

日本音響学会 北陸支部

支部長 土田 義郎

副支部長 三好 正人

企画幹事 高野 佐代子, 長谷川 英之